

課題別研修「コミュニティ防災」コース

研修概要

阪神・淡路大震災の際に救助された被災者の約8割は近隣住民によるものであったという事実は、震災直後の行政機関対応(公助)の限界、自助・共助の重要性が改めて認識される結果となりました。

コミュニティ防災研修は、神戸市が震災経験から独自に整備した、自主防災組織「防災福祉コミュニティ(BOKOMI)」を中心に行政・教育機関・NPOなど幅広い関係者が取り組む防災活動の紹介を通じ、地域の防災力向上の重要性を研修員へ発信しています。



神戸市内防災訓練へ参加

研修内容の一例

- ・日本の防災行政
- ・地域防災計画
- ・自主防災組織の設立と支援
- ・地域と連携した防災教育の推進
- ・海外のコミュニティ防災
- ・神戸市内防災訓練参加